

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:https://ksvk.jp/
◇郵便局振替口座 / 福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座 / 2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇コロナ禍での取り組みは…

北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 竹田 英樹

2~4P



◆福祉のまちづくりネットワークプロジェクト リレーレポート⑳

「折尾駅北側のバス停、タクシー乗り場が10月より移転」

北九州市視覚障害者自立推進協会あいす 中村 忠能

5P

◇MYフレンド 「明るく楽しく前向きに!」

九州電力労働組合 北九州支部 執行委員長 下菌 一隆

6P

◆オータムスクール いもほり体験!!

北九州市障害福祉ボランティア協会 コーディネーター 鈴木 喜子

7P

◇協会カレンダー

8P



座標軸

先日、街中でゆつくりと散歩をさせているご夫婦の姿を目にしました。その足元には小さなワンちゃんを連れ立っていました。よく見るとそのワンちゃんは何かを引つ張っているように見えました。意外なことに何かを引つ張っていたのではなく、車いす(台車のようなもの)に体を固定し歩いているものでした。邪魔なものとは思わず不自由に思っても生き生きとした目で喜びながら一生懸命前に向かって歩んでいる姿でした。車いすを考え付かれた飼い主の愛情なのでしょう。お二人の優しい眼差しが尊く感じられました。

そう言えば、動物番組で足が不自由になったワンちゃんが体に車いすを固定して散歩をしているのを見たことがあります。不思議だと思ふことが誤った考えなのかもしれません。飼い主の愛情を感じました。

コロナ禍で癒しを求めペットを飼い始めるひとが増えていると聞きます。そのせいか動物病院はどこも満員です。ペットから癒され動物との共生社会が守られながら、どうして人との共生社会は難しいのでしょうか。

(K・O)

コロナ禍での取り組みは…

北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 竹田 英樹

10月22日に理事会を開催し上半期の事業報告をしました。主な内容をご紹介します。

【コロナ禍の中で】

令和3年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、9月30日まで非常事態宣言が続きました。このことで昨年度同様、障害当事者と直接顔を合わせての社会参加支援や各種イベント開催については様々な制約がありました。その中で出来ること、更にコロナ禍だからこそやるべきことを摸索し工夫しながらの上半期事業を実施しました。

【ICTを活用】

各種会議をオンライン会議にしたり、ハイブリット会議にすることで、緊急事態宣言下でも実施することが

出来ました。外出が難しい人や移動時間が取れないような人からは、会議への出席が容易になったという声もありました。

当事者のパソコン支援についても、サポーターの活動も活用するだけでなく、スマホやZoomの使い方に関する支援にまで拡大したり、コロナワクチン接種のネットでの申し込み支援なども実施しました。

ネットを使った各種支援方法については、今後も検討研究を続けていくことにしています。

【40周年記念事業】

設立40周年を記念しての取り組みは、会員や関係者とともに意見交換をしながら実施することとしていました。そこで上半期は

電話やメール、時にはオンラインを使いながら個別に現況報告やボラ協への思い等を話し合ってきました。

その中から「会員の提案による事業」として、障害者差別解消の取り組みを支援する試行事業が有志によって開始しています。

【障害者差別の解消へ向けた取り組み】

活動の第一弾として「障害を理由とする差別の解消に関するアンケート」調査を実施しました。これは

国が障害者差別解消法を見直すことにより民間事業者の障害者に対する合理的配慮の提供が義務化されることを受け、北九州市の障害者差別解消条例も見直されることとなるこの時期に、事業者にとつての不安や疑問点を洗い出し、より良い「共生社会づくり」の一助となるような情報をもとめ、それを北九州市や関係団体などに報告

し活用してもらおうように働きかけたいという思いで取り組みましたものです。



この活動は自立生活センター「ぶるーむ」と共催で、また、小倉中央商業連合会のご協力の元、800店を対象に実施しました。

【アンケート調査結果】

- ・ 調査期間… 8月15日～31日
- ・ 調査対象店舗数… 800店
- ・ 回収状況… 62店
- ・ 回収率… 8%
- ・ 回収率が8%と低かったことは、时期的なこともあるかもしれませんが、障害者差別解消法および北九州市障害者差別解消条例の認知度・関心度が低いということが言えると思います。

「北九州市障害者差別解消条例を知っていますか」の問いに、「知らない」と回答した店舗が86%あったことから言えることです。

【調査結果を受けて】

有志の実行委員会からは調査結果から見えてくる今後取り組みべきことがいくつか提案されました。コロナ対策に追われている事業所が多いこともアンケート回収率が伸びなかった理由の一つと思われる。当面はコロナ禍の中でソーシャルディスタンスやマスク等を求められる状況において、障害者の特性を理解しながら合理的配慮をどのように行うかが今後の課題になると思われる。このことについて関係者がともに検討しその結果を周知していく場を早期に作る必要がある。

2. 今回のアンケートでは、多くの事業所が相談機関や他事業の応対事例などの情報を求めていることがわかった。今後の取り組みとして、事業所が求める情報の調査を更に実施し、「共生社会づくり」のための情報発信を教育機関等も含め各方面に向けて発信し続ける必要がある。

3. アンケートの中では障害のある来客への対応の仕方が分からなかったり困ったりした事例も散見できる。また合理的配慮を提供するうえで必要なものについての回答では「助成金制度」よりも「相談できる機関」が求められていることから、回答いただいた事業者へ向けての個別相談対応を試行事業の次の段階として取り組んでみたい。その際、相談を受け側は障害のある人だ

けではなく、例えば弁護士と障害のある人がセツトになって相談を受ける等、中立性と相談のしやすさを大事にすることが肝要である。

4. 障害者差別解消法及び北九州市障害者差別解消条例の認知度がかなり低いことが確認されたことから、周知に関する取り組みが更に求められる。北九州市をはじめ関係機関や団体が講師の出前事業を実施しているが、更にメニューを拡大大強化するとともに、あらゆる機関や団体を巻き込んで周知に努める必要がある。

・ 宅建協会や保健所等は、店を開設する場合にま

・ ず関わってくることになる。これらの機関や団体を通して周知を求めている。

・ 事業所の人権委員研修会のメニューの一つに入れても

らう(人権推進センター)

これらの提案の中には、ボラ協が取り組むべきことやボラ協から別組織につながるべきことなどが含まれています。

設立40周年記念事業の取り組みではもうひとつのアンケート調査、「ボラ協の今後を考えるためのアンケート」調査があります。これについては広く会員や関係者に配布しているところですが、こちらの調査結果を受けてのボラ協の方向性や取り組みを検討する時点で差別解消に関わるアンケート調査結果の提案事項がリンクしてくるようになります。ボラ協アンケートは現在集計中です。集計作業が終了次第、専門の方のアドバイスもいただきながら分析等を始めます。分析検討会に参加されたい方は事務局にご報ください。これか

らのボラ協の方向性を一緒に考えていきましよう。(調査結果の報告は次号で行う予定です)

理事会ではこの他に次のような議題が話されました。

【予算執行状況】

会費や委託費については、上半期で約90%以上の収入状況で、助成金、一般寄付金、事業収入も約50%の収入状況です。指定寄付金も昨年の実績を元に300万円の予算を組んでいましたが、今年度も大口寄付があり、約40%以上の収入がありました。しかし、下半期に大口寄付の予定がありませんので、年末の「まごころ募金」に会員や関係者の協力を今年もお願いしなければなりません。

収入見込みから支出見込みを引くと、約300万円の赤字になりますが、赤字の二部を基本財産取り崩して埋めることが理事会で決議されて

いますので、寄付が予定どおりの金額にならない場合は、最終決算では50万円ぐらいの赤字決算になる見込みです。

「ひまわり基金」からの助成金が全面カットになったことでの資金難は具体的な解決策を見いだせないまま、今年度も残念ながら続いています。

【休眠貯金の活用】

そのような中、理事より、活動費確保のため休眠貯金の活用提案がありました。休眠貯金とは、国民が持っている銀行口座の中で、10年間出し入れのない貯金のことを「休眠貯金」と呼んでいます。2018年に「民間公益活動」を促進するための休眠貯金等に係る活用に関する法律(休眠貯金等活用法)が施行され、2009年以降10年以上入出金などの取引が行われていない貯金等は、貯金保険機構に移管され、民間公益活動の促進に活用されることになりました。

様々な社会課題を解決するための民間活動に、休眠貯金を財源とした資金を活用することが、休眠貯金等活用法に定められています。社会課題を優先的に解決すべき課題が3つ挙げられていますが、その一つにボランティア協会にも関係のある、「社会的孤立や差別の解消に向けた支援」があります。

理事会では前向きに研究検討していく予定です。

【定款変更】

福岡県および法務局から総会での決議事項の不備や役員任期期間、理事会開催時期の文章について、不備の指摘がありました。

理事会では、これを二つ二つ確認の上、修正することになりました。そこで、令和4年度の定期総会において、左記の三点について定款変更の提案を行う予定です。

一、総会の権限

第13条

●(旧) 総会は、次の各事項について決議する
〜(略)〜

(4)各事業年度の事業計画及び予算の承認
〜(略)〜

●(新) 第13条から削除

(事業計画書及び収支予算書)第43条 この法人の事業計画書及び収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを、毎事業年度の開始の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て、総会に報告するものとする。

※削除理由

「各事業年度の事業計画及び予算の承認」は、右記の第43条のとおり、理事会の決議事項であって、総会では報告に対する承認事項であると規定しているため、第13条の総会決議事項からは削除するというものです。

二、役員任期

第25条

●(旧)

理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の日までとする。ただし、再任を妨げない

●(新)

理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない

※変更理由

これまでは総会の途中で、前年度の報告後に休憩時間を取り、その間に次年度の役員による臨時理事会を開いてその年度の三役を選出し、休憩後に新三役の紹介を総会の中で行うということをしておりました。

しかし、この方法は間違いであり、「総会終結の日まで」を国が示している公益法

人の定款例にある、役員任期は、「定時総会の終結の時」に変更して、総会と同じ日に、総会終了後すぐに臨時理事会を開いて、三役の選任をすることに来年度から変更しようというものです。

三、理事会の開催

第31条

●(旧)

理事会は、通常理事会として毎年度4月及び10月、3月の3回開催とする。

●(新)

理事会は、通常理事会として毎年度、予算理事会、上半期報告理事会、決算理事会の3回開催とする

※変更理由

理事会の開催日は、諸般の事情によって必ずしも定められた月の開催が難しいことも考えられます。そのため、開催月を定めるのではなく、開催目的に沿った内容の理事会を年度内に3回開催するという表記に変更しようというものです。

お知らせ

障害のある人へのパソコンサポーター養成講座

障害があるためにパソコンの基本操作について支援が必要な方をサポートする障害者パソコンサポーターを募集します。

受講対象者: パソコンの基本操作(ワード・エクセル・メール等)ができる人 受講料: 無料

会場: 北九州市立東部障害者福祉会館研修室(ウェルとばた6階)

講座期間: R4年1月22日(土)~2月26日(土)の毎週土曜日(全6回・10時~16時)。

申込み: R3年12月28日(火)まで ※問合わせ・申込みはボランティア協会までご連絡下さい。

福祉のまちづくり
ネットワークプロジェクト
(リレーレポート⑳)

「折尾駅北側のバス停、
タクシー乗り場が
10月より移転」

北九州市視覚障害者
自立推進協会あいす
中村 忠能



右の写真は北九州市の担当者
者が手作りした触地図です。
点字ブロックの誘導部分はネ
イ等に使用されるラインスト
ンが貼られていて指で触れると
凸がわかるようになっていま
す。
今回のバス停の移動につい
ては9月17日に二度触地図を
触りながら説明を聞き、10月
1日のバス停移設前に実際に
現地を見て歩きたいと希望し
、工事を行っている傍
でルートを確認させ



てもらったことになったのです。

2021年9月28日の夕
方、「まちネット」関連で、視覚
障害者2名、支援者2名が参
加し、折尾総合整備事務所の
方より、10月1日からの折尾
駅バス停、タクシー乗り場の変
更に関する説明を受け、現地
確認を行いました。

この変更は、折尾駅北側広
場の整備工事との兼ね合いの
ものです。

タクシー乗り場は、これまで
の位置より折尾駅北口交差
点の方へ乗り場全体が少し移
動します。

改札からバス停、タクシー乗
り場へと最短距離でつながっ
ていた点字ブロックがなくなり、
工事期間中は別のルートへ迂
回する必要があるそうので、こ
れまでより遠くなる印象です。

折尾駅北口にありましたバ
ス停は、旧折尾駅西口バス停と
合併し、学園大通りのある折
尾中間線上の、駅舎裏裏の高
架下に移転しました。
これは仮移転で、3年後ぐ

らいで再度移転し、最終的に
は折尾駅南口に移転する予
定とのことでした。



9月28日に現地確認を行っ
た時点では、バス停までのルート
上で部点字ブロックが繋がって
いない所がありましたので、点
字ブロックが繋がるまでは両サ
イドにラエンスを置いていただ
くと分かりやすくなることをお
伝えし、早速10月1日時点で
通った時にはラエンスを置いて
いただいていたので迷わずに
通ることができました。

その後、10月13日の時点で
点字ブロックは繋がってしま
したが、分岐が多かったり斜めの
交差にブロックがなっている所
もあり、慣れるまで迷ってしま
いそうです。

私は主に市営バスを利用し、
二島方面に向かいますが、乗
り口が折尾4丁目交差点を

渡った所にあります。音声信
号になってはいますが、青の時
間が足早な私でも若干短く
感じました。

駅南口に最終的に移転した
時には信号を渡らなくていい
ロータリーになると嬉しいので
すが…。

工事期間でもあり、駅員の
方、工事関係者の方からも支
援していただけると思います
が、視覚障害のある方は、同行
援護を利用するか、頻繁に利
用される方は歩行訓練を受
けた方がいいかもしれません。
段差や坂になつていいる部分
もありますので足元にも注意
が必要です。

まだまだ工事期間も長く
続き、少しずつ状況も変わつて
いくと思いますが、最終的に、
歩きやすく便利な折尾駅周
辺になることを願っています。

*触地図は、ボラ協の事務所
にありますので、
現物を見たい方
はお気軽に見
に来てください。



広告



SKC 会計グループ
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
http://www.sakaikeiei.co.jp/

株式会社さかい経営センター 株式会社北九州経理代行センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州



今回は、今年度より北九州
市障害福祉ボランティア協会
(以下ボラ協)の理事に就任さ
れた九州電力労働組合 北九
州支部 執行委員長の下蘭一
隆さんをご紹介します。

ボラ協との関わりは—
先々代の九電労組支部委
員長がボラ協と知り合いで
繋がりを作りました。今年
六月から私が支部委員長と
なり、それからのご縁です。

ボラ協の存在は—
障害のある人と接する機
会もなく、詳しくは知りませ
んでした。

ボランティア活動は—
職場組合員のころは、清掃
活動、植樹、災害関係、北九
州マラソン等での活動を行
いました。
—理事就任から十月現在ま
での約五ヶ月間の活動は—

まだ二回会議に出席した
だけです。他の団体のそれぞ
れの立場からの発言やいろい
ろな人の意見を聞き、考え方
を知ることができています。
違う視点を知り学びがある
ので視野が広がっている気
がします。何ができるか考え
ているところで勉強中です。

組合活動は—

九電だけでは
なく関連する
労組との繋がり
やその中での役
割もあります。
組合活動の中
で、休暇や福利
厚生を勝ち取っ
てきた歴史があ
りますが、若い人はそれが当
たり前で「組合って何？」とい
う認識です。組合役員のなり
手がないという課題もありま
す。男性組合員の育児休暇
取得についても会社と話し合
いをしています。二気には進
まず気長に取り組む必要が
ありそうです。青年部はキャ



ボラ協理事 下蘭 一隆さん
(九州電力労働組合 北九州支部 執行委員長)

明るく楽しく前向きに!
—これからボラ協の活動
と組合活動との繋がりは—
障害のある人と接したこ
ともなければ、見かけた時、
どう声をかけ
ていいのか、ど
こまで手を出
していいのか
等対応の仕方
もわかりませ
ん。また、声を
かけるにも勇
気が要りま
す。今後は、いろいろな人と話
しをし、考える機会を得られ
るので、それを組合員に伝え
理解してもらい、障害福祉
という考えが広がっていけば
いいですね。

—モチベーションを上げるには—
「楽しく仕事をすること
うことです。今はコロナ禍で

ンプやボーリング大会等のレ
ク活動も行います。これから
ボラ協の活動に参加していく
中で視野を広げて、組合活動
のヒントも得たいと思うし、活
かしていきたいと思えます。

できていませんが、職場の飲
み会は大切だと思えます。若
い頃職場の先輩に、半強制的
に飲み会に連れて行かれま
した。そこでのコミュニケーションで「こういった考えがあるん
だ」と先輩の考えを知ること
ができたし、「いやいやではな
く、するなら楽しく」という
ことを教えられました。今で
も繋がりがあり本音を出せ
る存在です。息子にも「職場
の先輩から飲み会に誘われ
たら喜んで行くように」と言
っています。

—プライベートは—

家族は妻と息子二人、娘一
人です。趣味はゴルフ、ツーリン
グ、ソフトバンクホークスの試合
観戦等。ツーリングは、季節が
いい時と月二回程度出かけま
す。次男と阿蘇方面まで行く
こともあります。子ども達が
福岡市に通っているの、野球
観戦の時は福岡で待ち合わせ
て一緒にいきます。週二回は妻
と買物に出かけています。

聞き手 森山 幸恵

【広告】 明るく・元気に・前向きに! 困ったときはお互い様

業務内容 安全標識作成、資料の電子化、データ処理、
印刷各種、各種コピー、大型カラー出力、
印刷物(ポスター、記念誌等)の企画・デザイン

私たちは一人ひとりが生き生きと働ける職場
づくりを実現します。

三菱ケミカル(株)100%出資特例子会社
化成フロンティアサービス株式会社
〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1
TEL093-643-4390 FAX093-643-4393
<http://www.kfs-mc.co.jp>



「オータムスクール いもほり体験!!」

北九州市障書福祉ボランティア協会
コーディネーター 鈴木 喜子

2021年11月6日(土)

長期休暇対策事業「オータム
スクール」を開催しました。緊急
事態宣言が解除になって本
年度1回目のイベントです。

事業としては初め
ての「いもほり体験」で
準備段階からすべて
手探り状態でした。そ
こで、いもほり会場と
なった「サークルファ
ーム吉水(若松)」の吉原
さんに全面協力してい
ただき、無事に開催す
ることができました。

参加申し込みは、ご家族を
含め約90名以上でした。予定
人数を大幅に超えてしまいま
したが、少しでも多くの皆さん
に参加してほしいので、今
回は時間を30分ごと8回に区
切って行うことにしました。参
加者が時間通りに来ていただ
いたおかげで密になることも

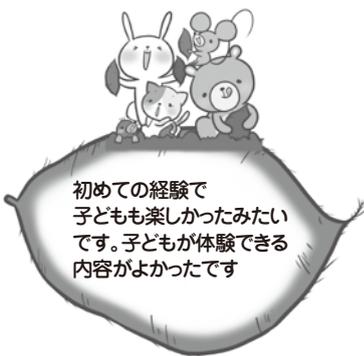
なく、スムーズに進行するこ
とができました。

子どもたちはマイスコップを
持参でやってきました。掘る
ときにあらかじめボランティア
の皆さんが掘りやすいよう
に手伝ってくれたので次から
次にお芋が出てきてとても楽
しそうでした。

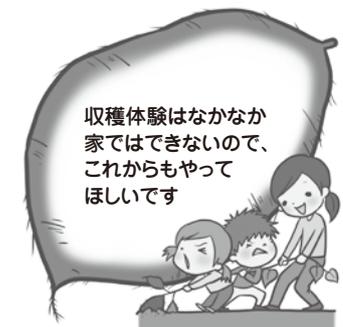


「もっと掘り
たい!」と、どん
どん掘っていく
子どもに「もう
袋に入らない
よ」とお母さん
たちは苦笑いで
した。
みんな泥だら
けになりながら、
嬉しそうにお芋を持って帰っ
てくれたので今回の企画を
行って良かったと実感しまし
た。「次はほかの野菜がとり
たいな」という声もあったの
でまた新たな企画を実施し
てみたいと思います。ご協力
いただいた皆様、本当にあり
がとうございました。

初めての経験で
子どもも楽しかったみたい
です。子どもが体験できる
内容がよかったです



参加者からの声



広告	集中力を つけたい!!	学習習慣を つけたい!!	はじめのいっほを お手伝い!!	KUMON
お問い合わせ・お申込みは 指導者：藤村 恵 / 080-5243-1808				
教室名	公文式 門司藤松教室		公文式 門司大里南教室	
教科	算数・数学・英語・国語 (幼児から学習できます)			
所在地	門司区光町1-1-1光ビル101号		門司区原町別院2-21朝倉ビル2F	

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

吉原 早苗(サークルファーム吉水 代表)

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

鶴池 皓代 公文真理亜 日隈あけみ 宮崎 初美

森山 幸恵 吉田寿美代 脇山三枝子

上村紙業株式会社 有会社コア

株式会社ジェイテクト九州支社 点字図書館

八幡西区役所保護課

○バザー品

岡村 正子 鹿子嶋初美 釘宮 智子 長野 陽子

西村 邦子 村上 啓泰 古賀由美子 竹田 英樹

書き損じはがき等収集品 ~ご協力のお願い~

この時期は年末に向けて、皆さまも年賀状の準備をされているのではないのでしょうか。

もしも書き損じなどが出ましたら、ボラ協で活用させていただきませんか。

郵便局で手数料を支払えば、ハガキや切手と交換することができますので、ボラ協では会報などをお送りしている通信費として利用しております。

その他、使用済み切手等も収集しておりますので、ご協力をお願いいたします。



※今年も、一年間ボラ協を支えてくださり、ありがとうございました。
よいお年をお迎えください。

協会カレンダー

12月

4日(土) 障害福祉団体連絡協議会街頭啓発キャンペーン

5日(日) ウィンタースクール②(映画「すみっこぐらし」)

13日(月) 障害者差別解消支援地域協議会分散会(行政等)

15日(水) 会報第233号発行

16日(木) 障害者差別解消支援地域協議会分散会(障害者団体等)

17日(金) 障害者差別解消支援地域協議会分散会(事業者等)

18日(土) ウィンタースクール③

(「せっけんづくり」クリスマスバージョン)

23日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

28日(火) 仕事納め

1月

4日(火) 仕事始め

6日(木) 令和3年度後期「北九州市民カレッジ」講座

12日(水) 常任委員会

13日(木) 令和3年度後期「北九州市民カレッジ」講座

22日(土) パンサポ養成講座(2・26各土曜日計6回)

27日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

2月

3日(木) 令和3年度後期「北九州市民カレッジ」講座

24日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

3月

9日(水) 常任委員会

15日(火) 会報234号発行

未定 予算理事会